

ハイハマボックス

Samolus parviflorus Raf.
サクラソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内の既知の生育地は1か所のみであるが、自生地及びその周辺を精査しても確認されなかったため絶滅した可能性が高い。

種の特徴

海岸付近や山地の湿性に生える多年草。全草無毛。茎は細く斜上し、高さ約10～30cm。葉は倒卵形または広楕円形で薄質。6～7月、まばらな総状花序をつくり、径2～3mmの白色花を開く。

分布

北海道～本州に分布。県内では池田町での記録がある。

絶滅した要因

護岸工事、湿地開発、遷移進行。

参考文献 若杉孝生（1971）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									●								

イワヒゲ

Cassiope lycopodioides (Pall.) D. Don
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は1か所である。前回の調査では取り上げられなかったが、1955年採集の県内産標本が確認された。その後、県内での確認情報はなく、県域絶滅とした。

種の特徴

高山の岩場の割れ目等に生える常緑の小低木。葉は鱗片状で、十字対生して茎に密着、菱形で先は鈍く、両面無毛。7月頃、葉腋にある数枚の卵形の苞に包まれた短枝の先から、長さ2～3cmの細長い花柄を伸ばし、先に1個の白色の花を下向きにつける。

分布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では大野市で確認されている。

絶滅した要因

生育地である亜高山の植生の変化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																●	

イヌセンブリ

Swertia tosaensis Makino
リンドウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

過去に県内で自生が確認されたのは1935年で、それ以来確認されていないことから絶滅したと思われる。

種の特徴

山野の湿地にはえる一年生、越年生の草本。茎は直立し高さ5～30cm、分岐する。葉は広くて、下部のものは倒披針形、長さ2～5cm。10～11月茎の頭部から柄を出し、白色でわずかに淡紫色の条がある花をつける。センブリに似るが苦味はない。

分布

北海道～九州に分布。県内では1935年に越前市で自生が確認されている。

絶滅した要因

もともと局地的に分布しており、生育地の湿地や、池沼が開発され絶滅したと考えられる。

参考文献 若杉孝生（2008a）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
												●					